

2021年6月11日

会社名 株式会社フレアス  
(コード番号: 7062 東証マザーズ)  
住 所 山梨県中巨摩郡昭和町西条 1514 番地  
代 表 者 代表取締役社長CEO 澤登 拓  
問 合 先 担当者 執行役員経営企画部長 佐藤真悟  
電話番号 03-6632-9210

## <マザーズ> 投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

### ○ 開催状況

開催日時	2021年6月11日 15:30 (動画公開日時)
開催方法	決算説明動画のオンデマンド配信
開催場所	自社ホームページ <a href="https://fureasu.jp/">https://fureasu.jp/</a>
説明会資料名	2021年3月期 決算説明資料

### 【添付資料】

1. 投資説明会において使用した資料



# 2021年3月期 決算説明資料

株式会社フレアス

2021年6月

東証マザーズ：7062

-  **2021年3月期 実績**
-  **2022年3月期見通し**
-  **今後の事業戦略と方針**
-  **当社のSDGs**
-  **Appendix**



# 2021年3月期実績



- 当社グループにおいては、医療概論や衛生学などといった衛生に関する知識を有する国家資格保持者がサービス提供をしております\*。
- コロナ禍、特には緊急事態宣言の発令中においても、当社サービスを必要とする利用者様のために、ケアマネジャーと相談のうえ、医師の指示に基づきサービスを継続しております。
- 当社グループは、感染防止指針に則り、器具の衛生管理、マスク着用、手洗い・手指消毒・体温測定を行ったうえでサービス提供しております。また、利用者も毎回体温を測定しており、発熱等の症状があれば、担当医、ケアマネジャー等へ迅速な連絡をとっております。

## 1 回目の緊急事態宣言（2020年4月7日発出）時との比較

- 1 回目の緊急事態宣言では、多くの介護施設において当社を含む外部者の立入りを制限
- 2 回目以降は、新生活様式の浸透に加えて、当社グループの感染症予防策についての認知活動に注力したことにより、一部の介護施設では立入り制限が緩和

**利用者数前年同期比** 2020/5末(1回目) 62% ⇒ 2021/2末(2回目) 73%

\* 必ずしも国家資格を必要としない訪問介護事業におけるサービス提供を除く

## withコロナへの対応とともに、拠点数の拡大を図る

### 決算概況

- 売上高は2Q以降回復基調となるも、1月からの緊急事態宣言の再発令等により、予想比5.4%減
- 生産性コントロールや経費削減等により、経常利益は予想比55.6%増  
営業利益は通期16百万円の損失となったが、四半期ベースでは2Q以降は黒字計上

### withコロナの取り組み

- コロナ禍による利用者のサービス休止により、症状の悪化傾向が見られたため、再開時には従前よりも高頻度でのサービス提供を推進。利用者1人あたりの利用回数が増加し生産性が向上  
⇒ **利用者一人あたり月間利用回数 前年同月比21%増（2021/3期）**
- FCにおいては、テレビ会議システムなどを営業や研修に活用し、新規加盟店開発に注力

### 拠点展開

#### （株）オルテンシアハーモニー 子会社化（2020年6月）

- 在宅マッサージ拠点数は**113拠点**（2020/3末）⇒ **326拠点**（2021/3末）
- 「フレアス」「レイス」の両ブランドで、更なるサービス提供拠点の拡大を目指す

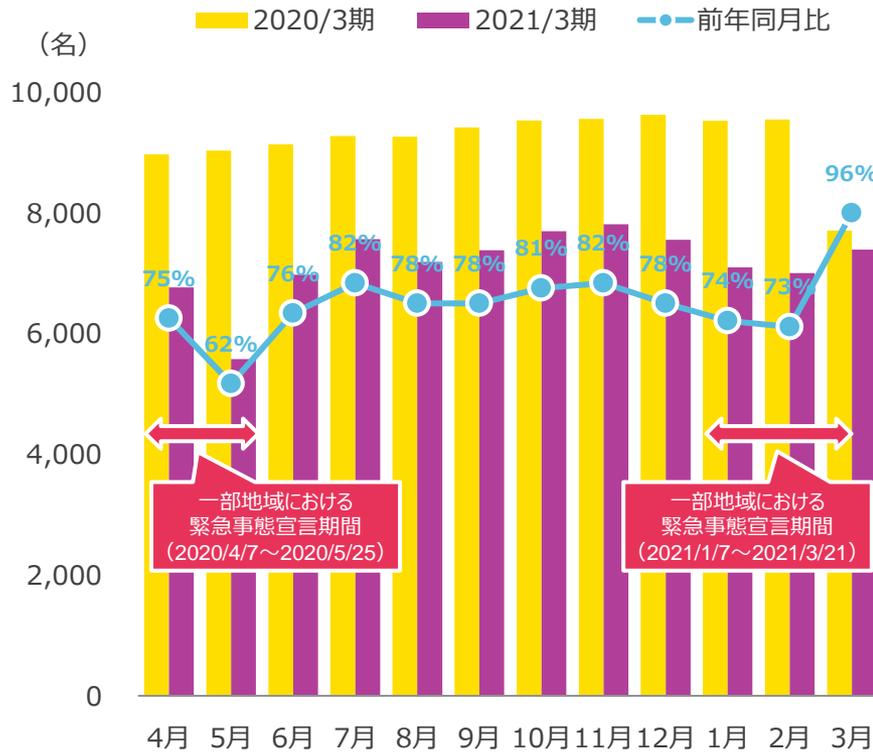
#### スカイハート（株）子会社化（2021年4月）

- 千葉県にて居宅介護支援事業及び訪問介護事業を展開
- 在宅マッサージとの複合による社会福祉サービスの総合提供を目指す

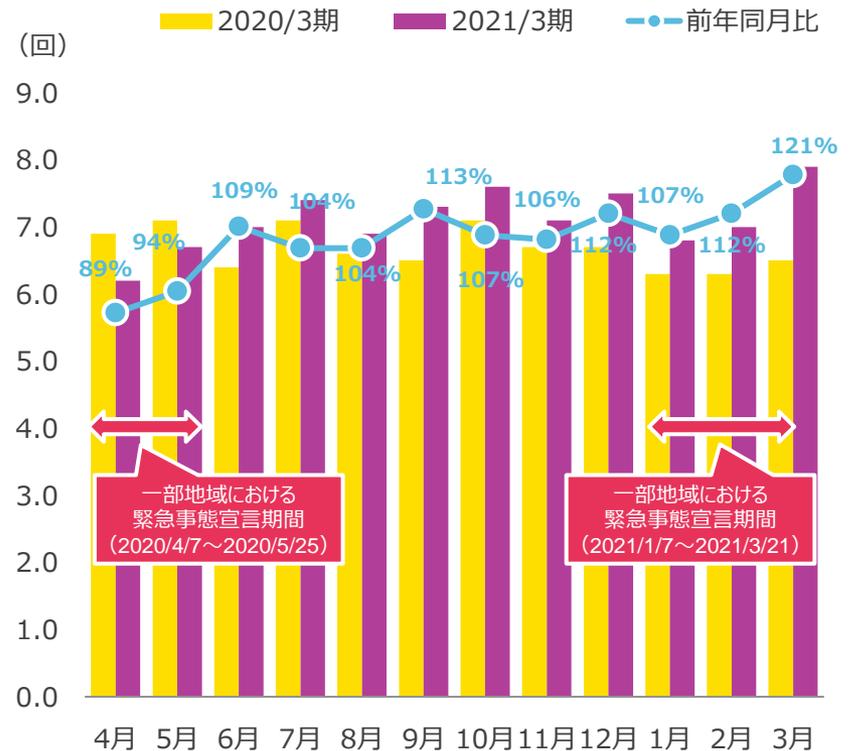


- 利用者数は2020年3月のコロナ禍以降、前年同期比80%前後の水準で推移
- 緊急事態宣言下でのサービス中止期間中に、利用者様の症状悪化傾向が見られたため、6月から高頻度でのサービス提供を推進、一人あたりの利用回数は110%前後で推移

利用者数推移（前年同月比）



利用者一人あたり月間利用回数推移（前年同月比）



# 2021年3月期決算の概要

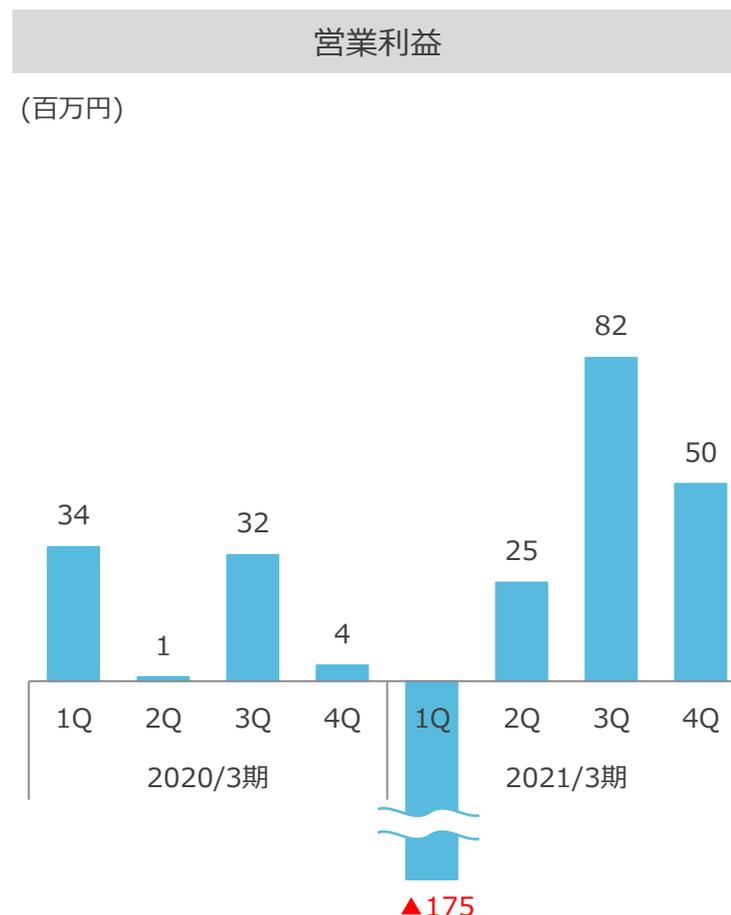
- 緊急事態宣言の再発令（2021年1月）など、当初見込んでいなかったコロナ禍影響により、売上高は予想比で5.4%減となった
- 利益面では、社内管理体制の見直しにより経費削減と生産性向上に努め、予想比で増益  
当期純利益は前年同期比でも4.3%の増益となった

(百万円)	2020/3期	2021/3期		対前期比	対予想比
	実績	予想	実績		
売上高	3,962	3,881	3,672	▲7.3%	▲5.4%
売上原価	2,220	2,039	2,047	▲7.8%	+0.4%
売上総利益	1,742	1,841	1,624	▲6.7%	▲11.8%
販管費	1,667	1,882	1,641	▲1.6%	▲12.8%
営業利益	74	▲41	▲16	—	—
営業外収益	50	113	135	+165.7%	+19.0%
営業外費用	5	6	16	+192.4%	+146.9%
経常利益	119	66	102	▲14.2%	+55.1%
当期純利益	56	17	59	+4.3%	+244.2%
1株当たり当期純利益	24.48	7.40	25.44	+4.0%	+243.7%
売上高総利益率	44.0%	47.4%	44.2%	+0.2pt	▲3.2pt
営業利益率	1.9%	—	—	—	—
経常利益率	3.0%	1.7%	2.8%	▲0.2pt	+1.1pt

※2020/3期は連結財務諸表を作成していませんが、参考情報として2020/3期の個別財務諸表との比較を記載しております。

# 四半期別業績推移

- 売上高は、1Qは緊急事態宣言の影響で大きく減収したものの、2Q以降は回復基調で推移  
4Qにも緊急事態宣言が再発令されたものの、1Qと比較して影響は限定的
- 営業利益は、経費削減や生産性向上により2Q以降は黒字を維持、前年同期比でも増益に



※2020/3期は連結財務諸表を作成していませんが、参考情報として2020/3期の個別財務諸表との比較を記載しております。

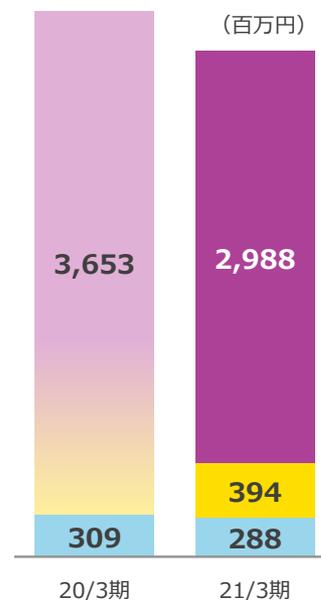
# 2021年3月期決算（セグメント）

- マッサージ直営事業は、当初見込んでいない追加的なコロナ禍影響があり予想比で減収減益  
経費削減や生産性向上により、減収影響に対して減益幅は縮小
- マッサージフランチャイズ事業は、TV会議活用など効率化を推進し、予想比136.5%の増益

(百万円)	2020/3期	2021/3期		対前期比	対予想比
	実績	予想	実績		
<b>売上高</b>	<b>3,962</b>	<b>3,881</b>	<b>3,672</b>	<b>▲7.3%</b>	<b>▲5.4%</b>
(マッサージ)	3,653	-	-	-	-
マッサージ直営	-	3,154	2,988	-	▲5.3%
マッサージフランチャイズ	-	401	394	-	▲1.8%
その他	309	324	288	▲6.7%	▲11.2%
<b>営業利益</b>	<b>74</b>	<b>▲41</b>	<b>▲16</b>	-	-
(マッサージ)	757	-	-	-	-
マッサージ直営	-	565	483	-	▲14.5%
マッサージフランチャイズ	-	49	118	-	+136.5%
その他	31	46	11	▲62.3%	▲74.7%
調整	▲715	▲703	▲630	-	-
マッサージ期末レセプト数 (利用者数) (件)	8,530	9,905	8,374	▲156	▲1,531
マッサージ年間利用回数 (回)	739,281	640,429	613,116	▲126,165	▲27,313
マッサージ拠点数 (FC含む)	113拠点	333拠点	326拠点	+213拠点	▲7拠点

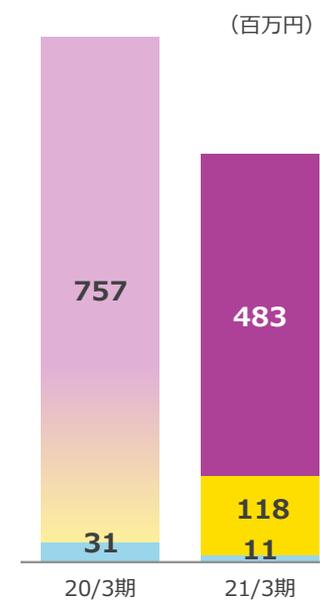
売上高構成

- (マッサージ)
- マッサージ直営
- マッサージフランチャイズ
- その他



セグメント利益構成

- (マッサージ)
- マッサージ直営
- マッサージフランチャイズ
- その他



※利用回数は鍼灸サービスに係る回数を除く  
 ※マッサージ期末レセプト数(利用者数)及びマッサージ年間利用回数は、  
 マッサージ直営事業における数値を記載しております。

※ 2020/3期は連結財務諸表を作成していませんが、  
 参考情報として2020/3期の個別財務諸表との比較を記載しております。  
 ※2021/3期1Qより、セグメント区分を変更しておりますが、参考情報として  
 2020/3期のマッサージ事業の数値を記載しております。

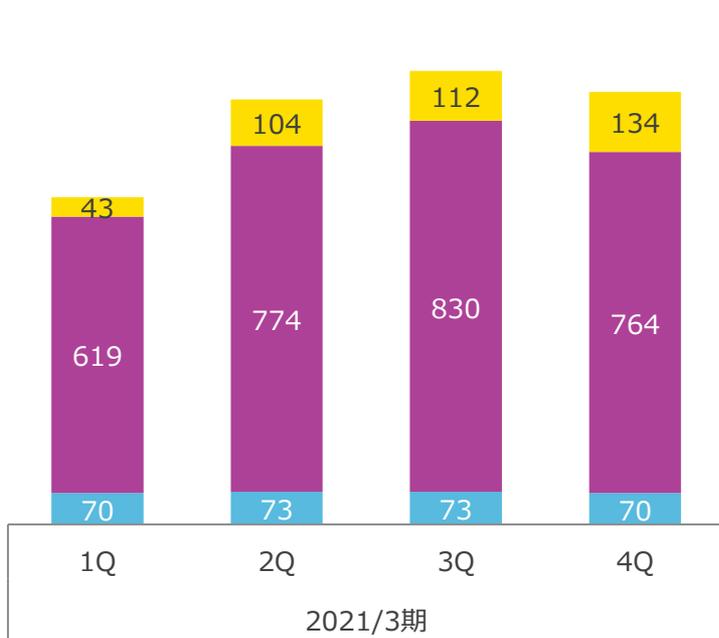
# 四半期別セグメント業績推移

- 売上高は1回目の緊急事態宣言が終わった2Qから回復基調で推移、特にマッサージフランチャイズ事業は四半期比で増収を維持
- 営業利益も2Q以降黒字が定着、マッサージフランチャイズ事業が大きく改善

## 売上高

(百万円)

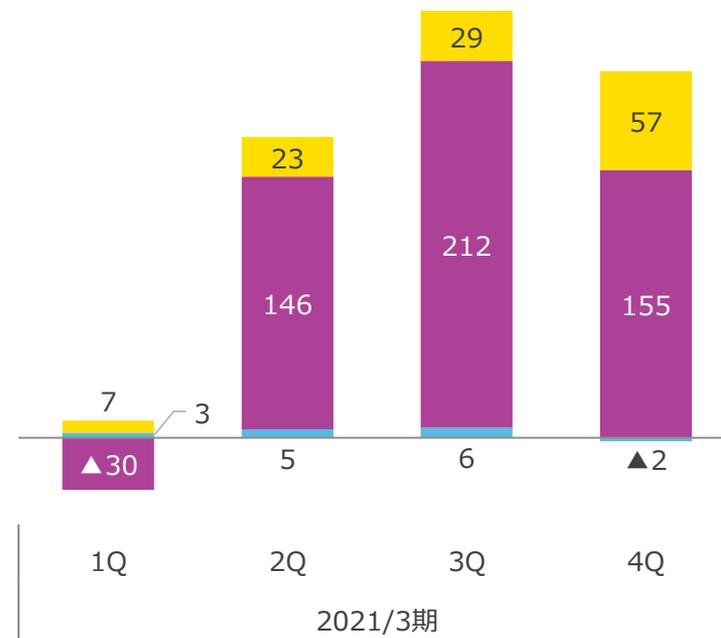
■ その他 ■ マッサージ直営 ■ マッサージフランチャイズ



## 営業利益

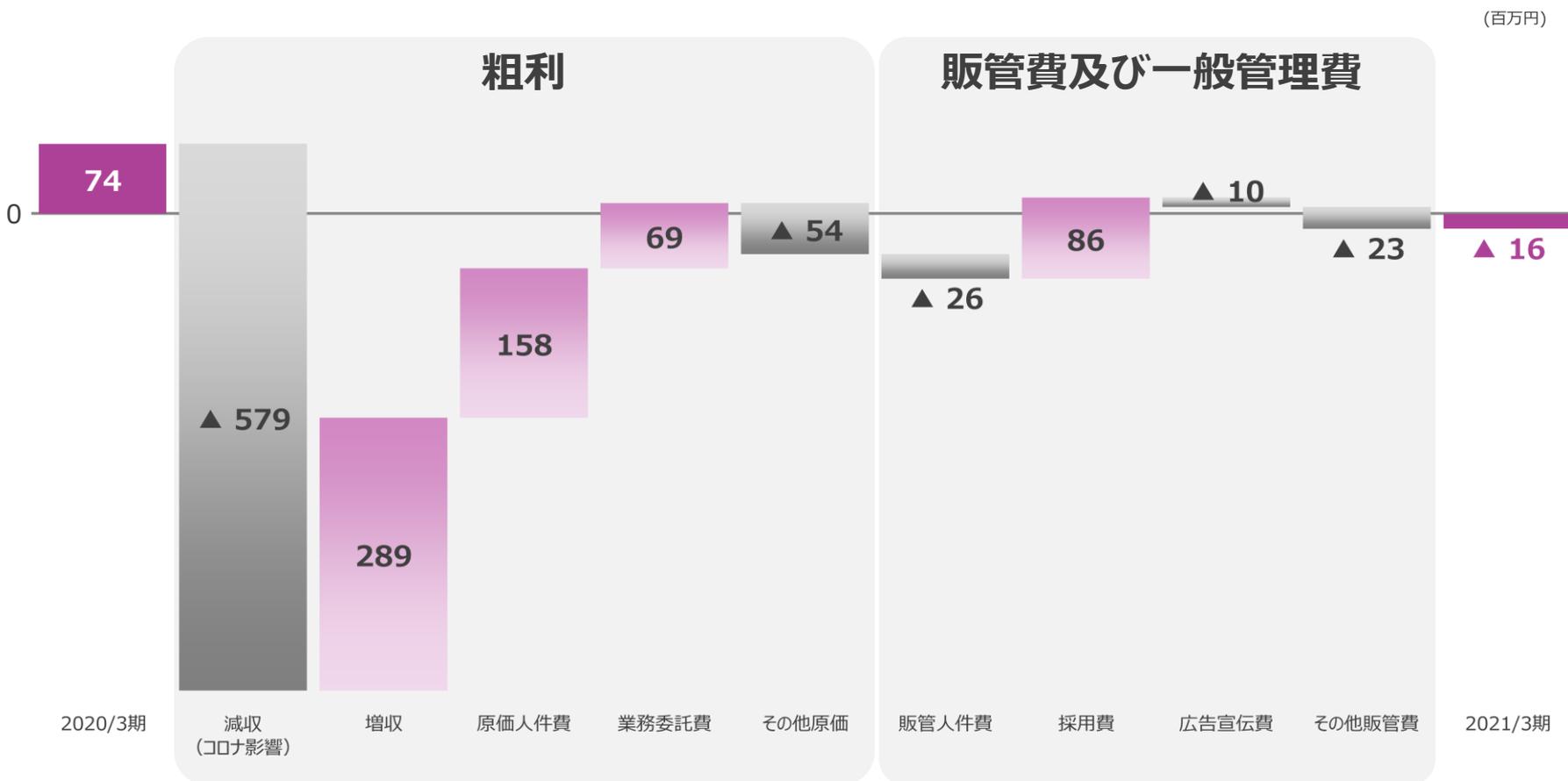
(百万円)

■ その他 ■ マッサージ直営 ■ マッサージフランチャイズ



# 2021年3月期 営業利益増減要因（前年同期比）

- 売上高は、コロナ禍により施設の立入制限があり減収となったが、フランチャイズの増収で一部をカバーした
- 減収に伴う人件費の減少に加え、業務委託費や採用費を削減したものの、営業赤字となった

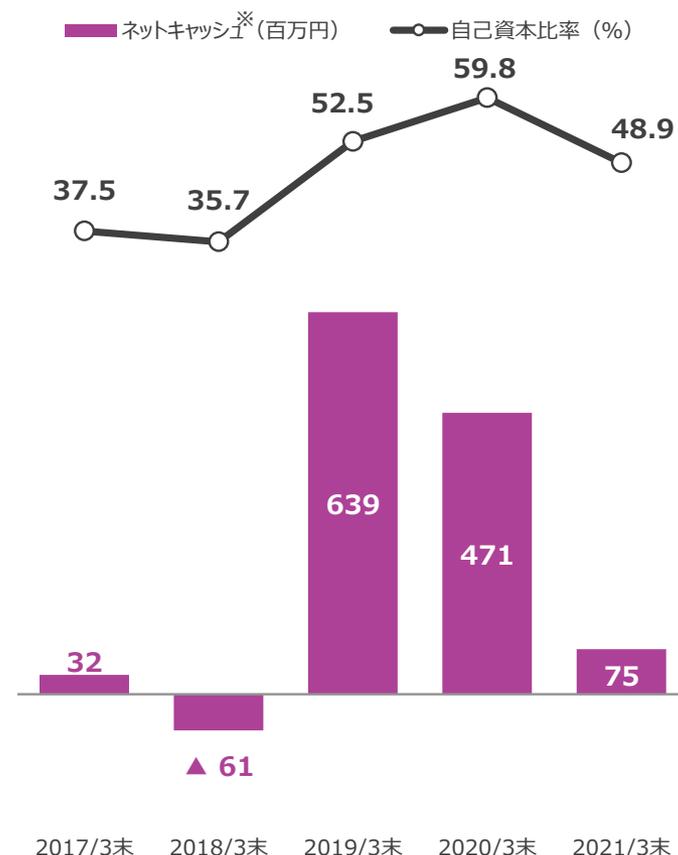


※2020/3期は連結財務諸表を作成していませんが、参考情報として2020/3期の個別財務諸表との比較を記載しております。

# バランスシート状況

- オルテンシアハーモニー買収に伴うのれん等の計上により、無形固定資産が516百万円増加
- マッサージフランチャイズ事業拡大のための運転資金の確保を目的として、資金借り入れを実施
- 2021/3末は75百万円のネットキャッシュ、自己資本比率も48.9%と健全

(百万円)	2020/3末	2021/3末	対前期末比
流動資産	2,354	2,535	+181
現預金	1,155	1,222	+67
売掛金	995	891	▲104
固定資産	150	654	+503
有形固定資産	20	17	▲2
無形固定資産	49	565	+516
資産合計	2,505	3,189	+684
負債	1,007	1,630	+622
有利子負債	683	1,146	+462
純資産	1,497	1,559	+61
負債純資産合計	2,505	3,189	+684



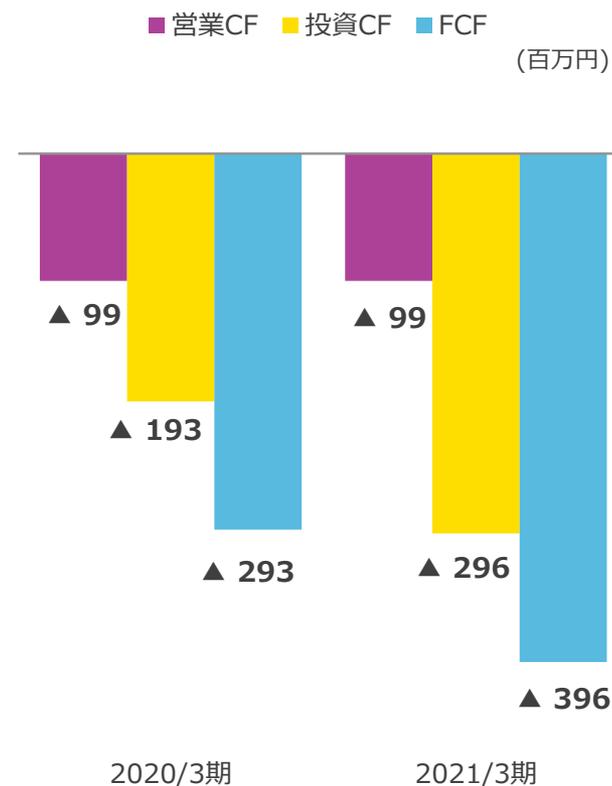
※2020/3期は連結財務諸表を作成していませんが、参考情報として2020/3期の個別財務諸表との比較を記載しております。

※ネットキャッシュ (ネットキャッシュ=現預金-有利子負債)

# キャッシュフローの状況

- 立替金の増加に伴う支出等により、営業CFは▲99百万円
- 子会社株式取得等により投資CFは▲296百万円となり、FCFも▲396百万円となった
- 長期借入の増加等により、現金及び現金同等物の期末残高は1,215百万円

(百万円)	2020/3期	2021/3期	対前期比
営業CF	▲99	▲99	—
税金等調整前当期純利益	119	112	▲7
売上債権の増減	▲19	104	+123
法人税等支払額	▲201	▲25	+176
投資CF	▲193	▲296	▲103
FCF*	▲293	▲396	▲103
財務CF	82	464	+382
有利子負債増減	▲42	462	+505
現金及び現金同等物の期末残高	1,147	1,215	+67



※FCF (フリーキャッシュフロー = 営業キャッシュフロー + 投資キャッシュフロー)

※2020/3期は連結財務諸表を作成していませんが、参考情報として2020/3期の個別財務諸表との比較を記載しております。



# 2022年3月期見通し



## マッサージ 直営事業

- 介護施設への営業を強化
- 利用者の症状を鑑み、サービス提供回数の増加を図る
- 高付加価値マッサージ\*サービス（高単価）の提供

※高付加価値マッサージ：従来のマッサージに比べ、より高い技能を基に利用者の満足度を高める施術と定義

## マッサージ フランチャイズ事業

- 更なる拠点数拡大を図る
- リモートを活用した研修体制の確立
- フランチャイズ加盟店数は277拠点\*(前期比40拠点増)を計画

※2022/3末時点

## その他事業

- 新たに看護小規模多機能型居宅介護事業を開始  
従来の訪問看護・訪問介護と連携しサービス拡充を図る
- 看護小規模多機能型居宅介護事業所 1 拠点及び  
訪問看護ステーション 2 拠点の新規開設を計画

	2021/3期 拠点数	2022/3期 拠点数計画	前期比
<b>在宅マッサージ</b>	<b>326</b>	<b>366</b>	<b>+40</b>
うち直営店	89	89	—
うちフランチャイズ加盟店	237	277	+40
<b>訪問看護</b>	<b>5</b>	<b>7</b>	<b>+2</b>
<b>訪問介護</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>+1</b>
<b>看護小規模多機能型居宅介護</b>	<b>—</b>	<b>1</b>	<b>+1</b>
<b>合計</b>	<b>332</b>	<b>376</b>	<b>+44</b>

# 2022年3月期 通期 決算予想

- 2020年6月に子会社化したオルテンシアハーモニーの通期寄与や、2021年4月に子会社したスカイハートの寄与、高頻度なサービス提供の継続、コロナ禍の影響も徐々に収束することを想定し、増収増益を見込む

(百万円)	2021/3期	2022/3期		対前期比
	実績	上期予想	通期予想	
売上高	3,672	2,168	4,443	+21.0%
売上原価	2,047	1,086	2,215	+8.2%
売上総利益	1,624	1,081	2,227	+37.1%
販管費	1,641	1,005	2,072	+26.3%
営業利益	▲16	76	155	—
営業外収益	135	4	37	▲72.4%
営業外費用	16	3	6	▲57.8%
経常利益	102	77	186	+81.2%
当期純利益	59	45	100	+68.9%
1株当たり当期純利益	25.44	19.61	42.96	+68.6%
売上高総利益率	44.2%	49.9%	50.1%	+5.9pt
営業利益率	—	3.5%	3.5%	—
経常利益率	2.8%	3.6%	4.2%	+1.4pt

# 2022年3月期 通期 決算予想 (セグメント)

- マッサージ直営事業では、利用者の再開・増加を見込み増収増益へ
- マッサージフランチャイズ事業では、オンラインを活用した営業活動や研修の推進により、加盟店の増加を図り、増収増益を見込む

(百万円)	2021/3期	2022/3期		対前期比
	実績	上期予想	通期予想	
<b>売上高</b>	3,672	2,168	4,443	+21.0%
マッサージ直営	2,988	1,715	3,417	+14.3%
マッサージフランチャイズ	394	271	614	+55.7%
その他	288	181	411	+42.5%
<b>営業利益</b>	▲16	76	155	—
マッサージ直営	483	355	685	+41.8%
マッサージフランチャイズ	118	55	166	+40.7%
その他	11	▲26	▲51	—
調整	▲630	▲307	▲645	—
マッサージ期末レセプト数(利用者数) (件)	8,374	8,971	9,463	+1,089
マッサージ年間利用回数 (回)	613,116	353,320	701,465	+88,349回
マッサージ拠点数 (FC含む)	326	346	366	+40店舗

※利用回数は鍼灸サービスに係る回数を除く

※マッサージ期末レセプト数(利用者数)及びマッサージ年間利用回数はマッサージ直営事業における数値を記載しております。

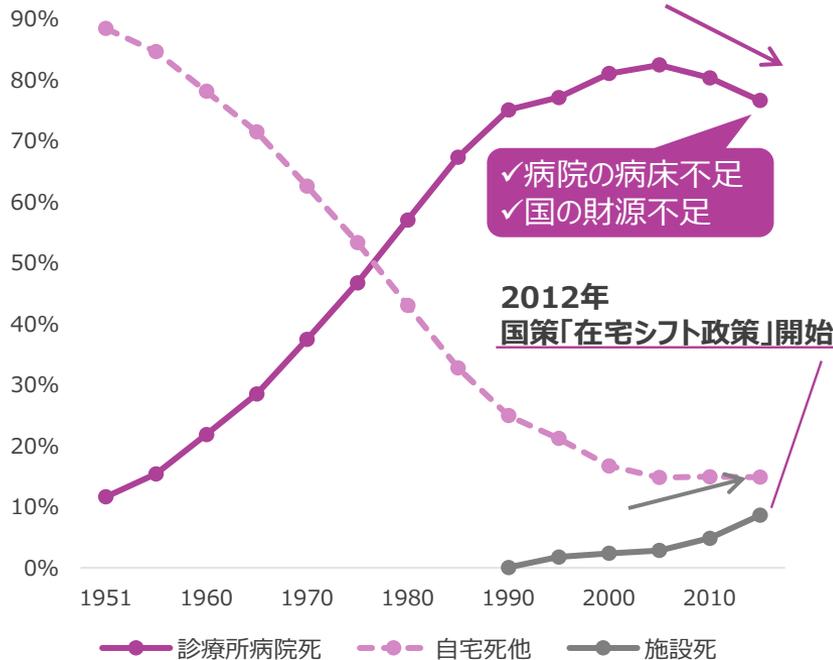


# 今後の事業戦略と方針



- 高齢者意識・社会保障・病床不足観測(2025年に約30万床不足\*)から在宅ケア需要拡大
- 国策としても、地域包括ケアシステム\*\*構想により「在宅シフト政策」を推進
- 「2025年問題」の解決企業として、当社はフランチャイズによりサービス提供エリアを拡大予定

死亡場所(構成比)の年次推移



出所：厚生労働省「平成27年人口動態統計（確定数）の概況」

\* 出所：厚生労働省「平成29年6月30日第11回医療計画の見直し等に関する検討会」資料

\*\* 高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる包括的な地域支援・サービス提供体制

会社理念と経営ビジョン

**会社理念**  
人と人とのふれあいを大切にし、  
社会貢献すると共に、  
社員の物心の幸せを追求する

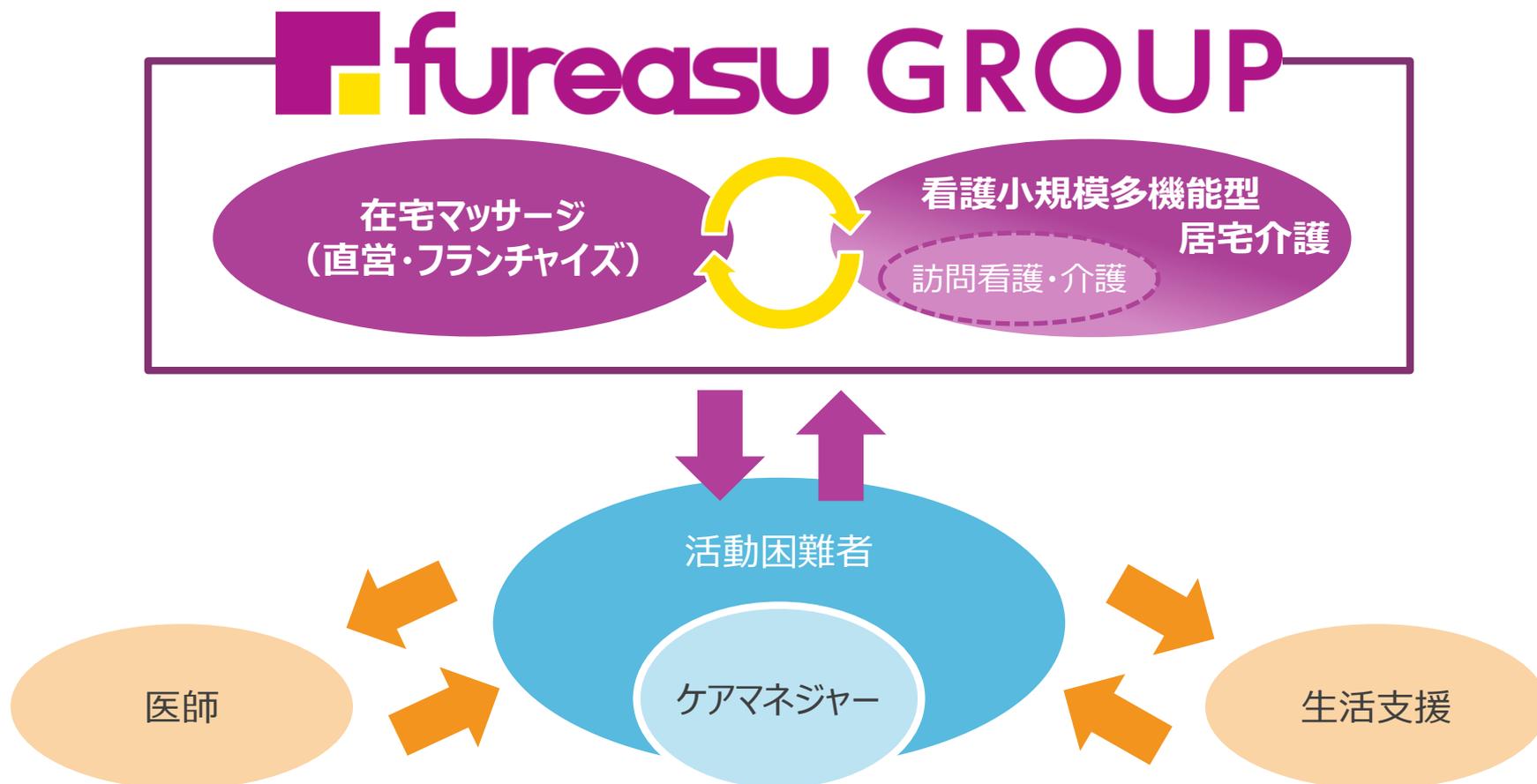


**経営ビジョン**  
全国津々浦々に一人でも多くの方に  
速やかにフレアスのサービスを提供し、  
日本の在宅事情を明るくする。

より高い技能を基に利用者の満足度を高める  
「高付加価値マッサージ」を、  
国家資格者であるマッサージ師によって、  
在宅訪問で提供するサービスカンパニー

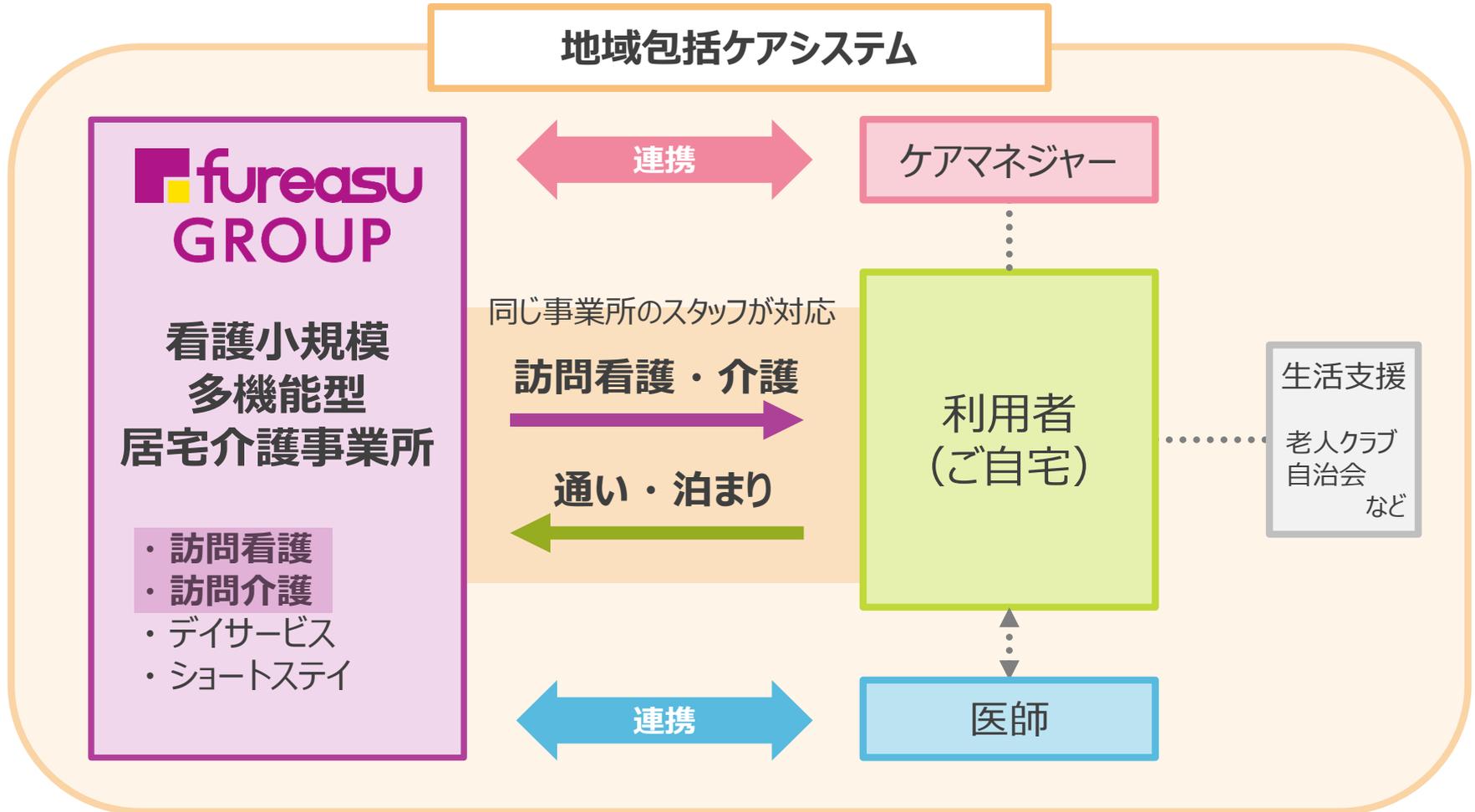
# 事業戦略：地域包括ケアへの貢献

- 日本では国策として、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される『地域包括ケアシステム』の構築を推進
- フレアスグループでは、在宅マッサージと訪問看護・訪問介護を含む看護小規模多機能型居宅介護の両事業で、互いにシナジーを創出しながら『地域包括ケアシステム』へ貢献していく



# 看護小規模多機能型居宅介護へ進出

- 看護小規模多機能型居宅介護事業所の設立により、従来型の介護施設で行われていた通いや泊まりでの利用に加えて、訪問看護や訪問介護といった複合的なサービス提供が可能
- 従来の訪問看護・介護から機能拡張し、「地域包括ケアシステム」の中心的存在を目指す



# 民間介護施設の機能比較

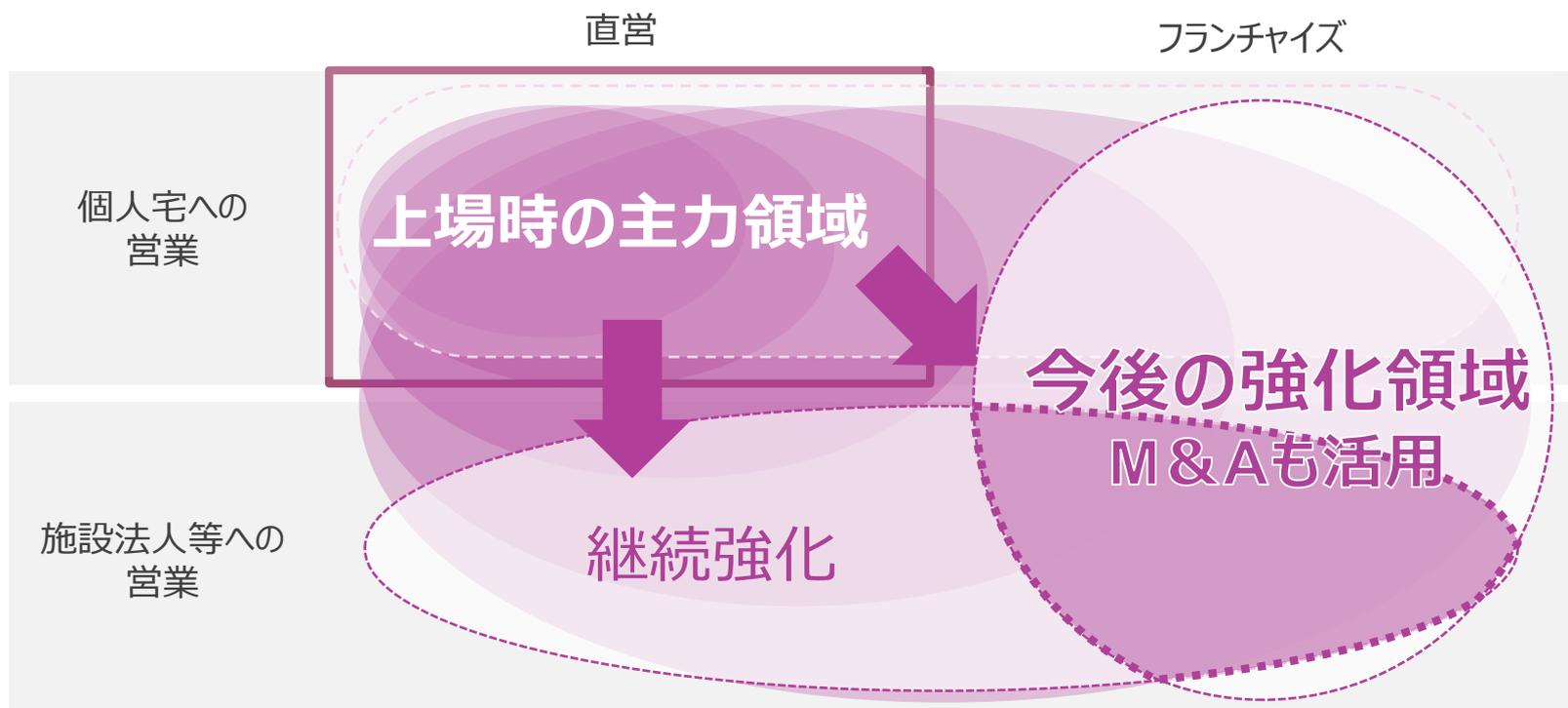
- 看護小規模多機能型居宅介護は、他施設と比較してサービスカバー範囲が広く、通いを前提とした居宅介護としては、唯一総合的なサービス提供が可能
- 医療サービスである訪問看護の提供により、フレアスグループのノウハウを最大限に活用できる

	介護付き有料 老人ホーム	デイサービス	小規模 多機能型 居宅介護	看護小規模 多機能型 居宅介護
提供サービス	介護	介護	介護	看護・介護
基本機能	入居	通所	通所・訪問	通所・訪問
通所利用	×	○	○	○
ショートステイ (泊まり)	○	×	○	○
訪問介護	×	×	○	○
訪問看護	×	×	×	○

- 法人営業の専門部署を設置し、在宅に加えて介護施設などへの営業を強化
- 「2025年問題」への対応のためフランチャイズを強化、フランチャイズ拠点の活用を加速
- 経営ビジョンの実現に向けて、引き続きM&Aも活用し、更なる拠点数拡大を目指す

## 経営ビジョンの実現

全国津々浦々に一人でも多くの方に速やかに  
フレアスのサービスを提供し、日本の在宅事情を明るくする。



# M&Aによるフランチャイズ強化

- (株) レイスヘルスケアから、「レイス治療院」ブランドのマッサージフランチャイズ事業を買収
- 「レイス治療院」は在宅マッサージで全国162拠点 (2021/3末時点)
- 本件M & Aを通じて、サービス提供エリアを大きく拡充



デイサービス  
フランチャイズ事業

レシピ作成  
システムの提供・  
請求事務代行事業

訪問マッサージ治療院  
フランチャイズ事業

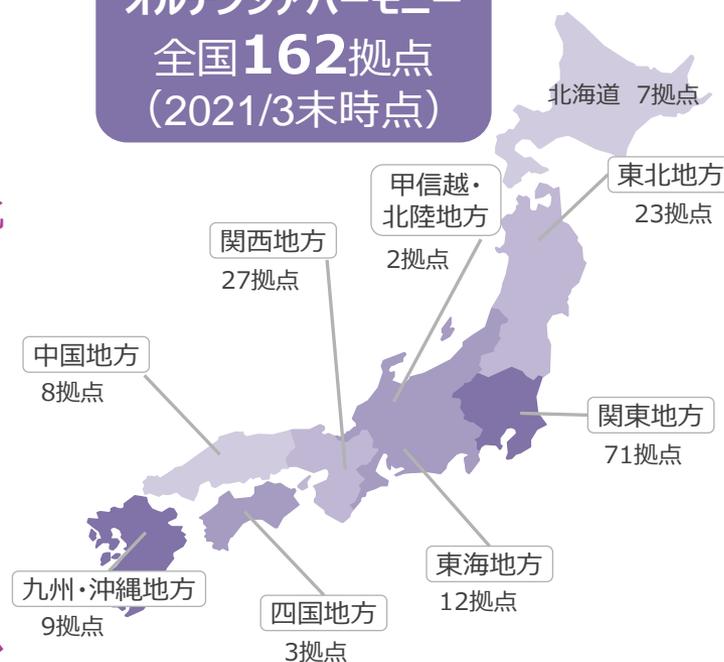
分割子会社化

(株) オルテンシアハーモニー



株式取得  
100%子会社化  
(2020年6月1日付)

オルテンシアハーモニー  
全国**162**拠点  
(2021/3末時点)



▶ 在宅マッサージ業界における  
マーケットシェアのさらなる拡大を図る

- フランチャイズ（FC）事業を本格展開しサービスエリアを拡充
- 潜在需要取り込みに向けてサービス提供エリアと拠点数拡大ピッチを加速

## 在宅マッサージの拠点数

**113** 拠点 (2020/3末) → **326** 拠点 (2021/3末) → **366** 拠点 (2022/3末予想)

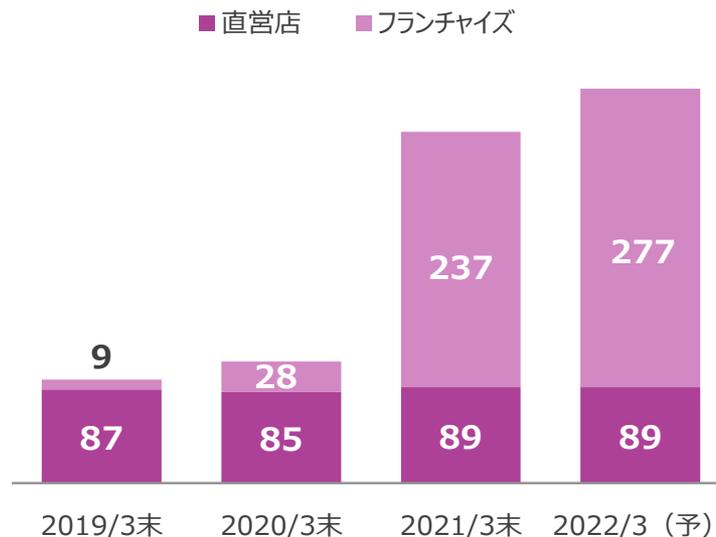
(内直営店 85拠点) (内直営店 89拠点) (内直営店 89拠点)  
(内フランチャイズ 28拠点) (内フランチャイズ 237拠点) (内フランチャイズ 277拠点)



- フレアスの認知度向上
- ケアマネジャーとの連携強化
- 施設法人への展開

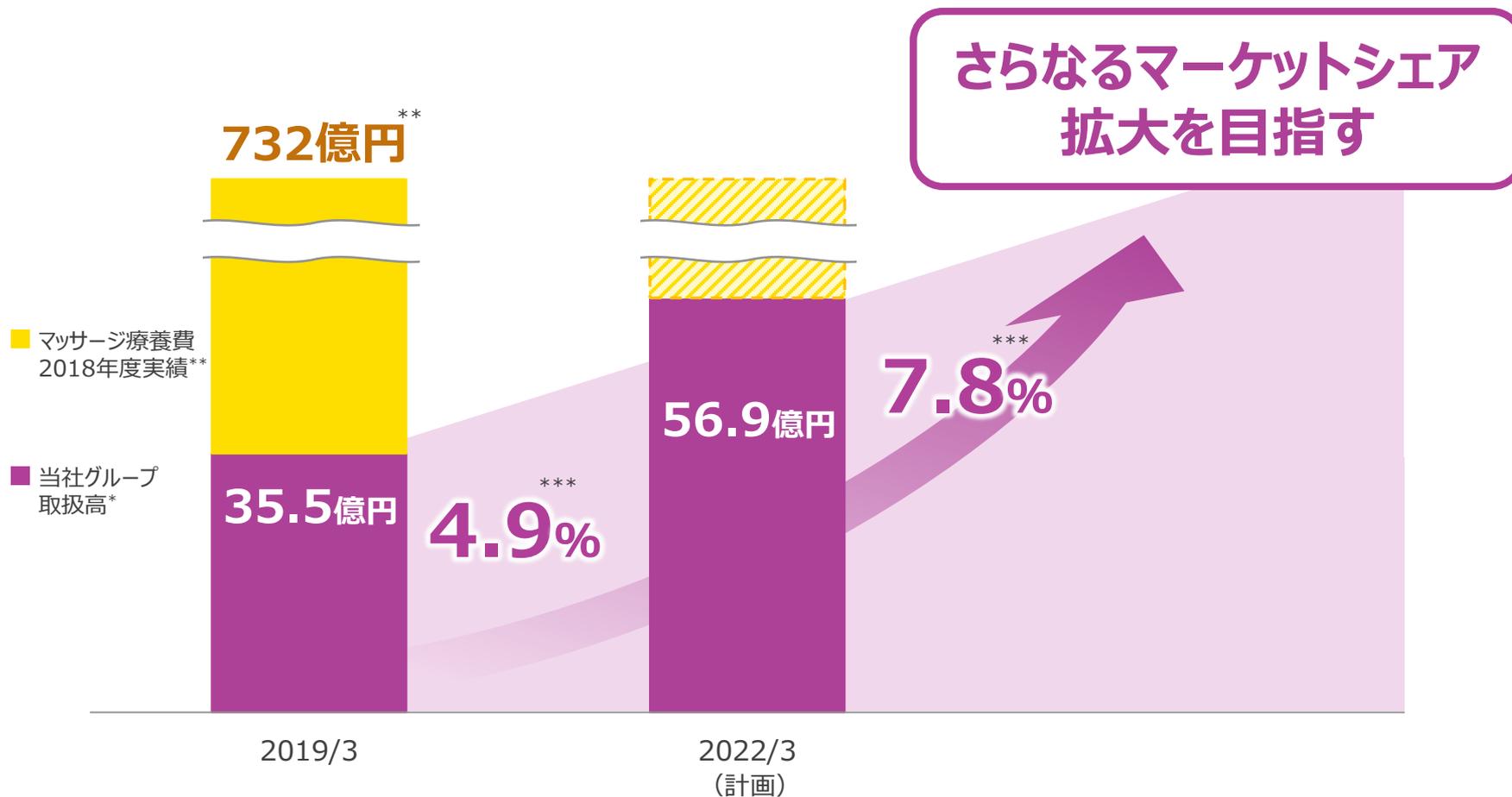
潜在需要取り込みに向けて  
サービス提供エリアと、  
拠点数拡大ピッチを加速

2022/3末時点  
366拠点計画



- マッサージ療養費におけるマーケットシェアは2022/3計画では**7.8%\*\*\*** さらなる拡大を目指す

マッサージ療養費と当社グループ取扱高\*シェア



\* 当社グループ（直営店、フランチャイズ加盟店を含む）におけるマッサージ療養費の取扱高の総合計

\*\* マッサージ療養費2018年度実績。2021年1月付「医療保険に関する基礎資料 ～平成30年度の医療費等の状況～」厚生労働省保健局調査課

\*\*\* 分母をマッサージ療養費2018年度実績数値（732億円）として計算

- 営業の当社一本化と、直営店スタッフによるフランチャイズ店フォローアップでシナジーを創出
- フランチャイズの本格展開により成長スピードを加速

## 経営ビジョンの実現に向けて

全国津々浦々に一人でも多くの方に速やかに  
フレアスのサービスを提供し、日本の在宅事情を明るくする。



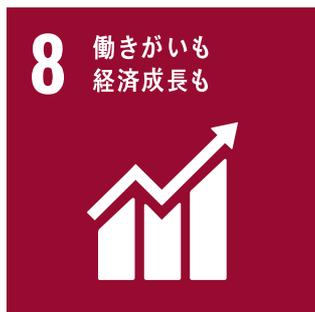
※1 2022/3末時点における予定拠点数



# 当社のSDGs



- 障がい者雇用比率26.7%（2021/3末）、盲学校へのリクルーティングを積極的に行い、自立支援を促し、第一線で、戦力としての活躍する場を提供



## 働きがいも経済成長も

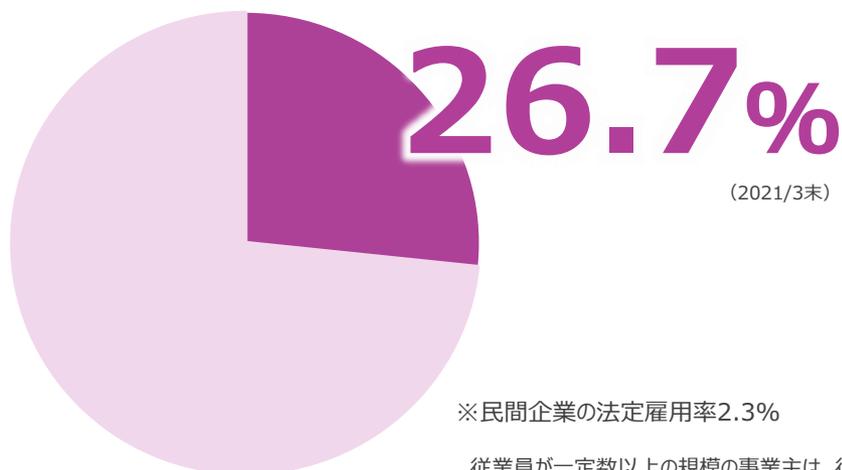
すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する

## 音声読み上げ機能のついた電子機器や補助器具を貸与

パソコン（PCトーカー）、携帯電話（らくらくホン）、iPad、拡大鏡など



## 当社の障がい者雇用比率



※民間企業の法定雇用率2.3%

従業員が一定数以上の規模の事業主は、従業員に占める身体障がい者・知的障がい者・精神障がい者の割合を「法定雇用率」以上にする義務があります。（障害者雇用促進法43条第1項）

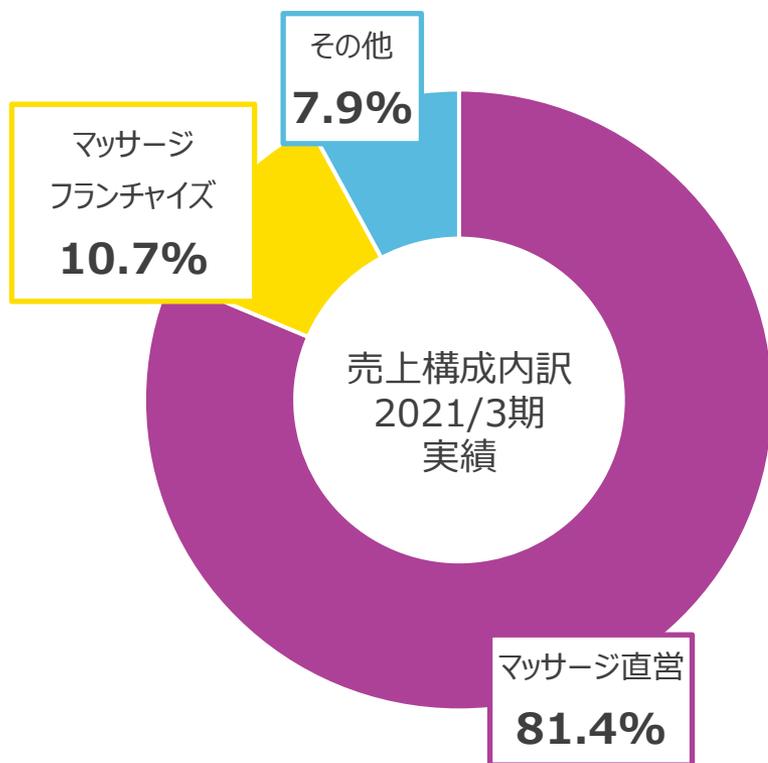




# APPENDIX



- 当社事業の9割超はマッサージ事業。活動困難者(介助なしで通院が困難な方 以下同)が対象。医師の指示・同意に基づいてサービスを提供
- その他の事業で訪問看護及び介護などを実施、新たに看護小規模多機能型居宅介護事業も開始予定



## マッサージ直営・マッサージフランチャイズ事業

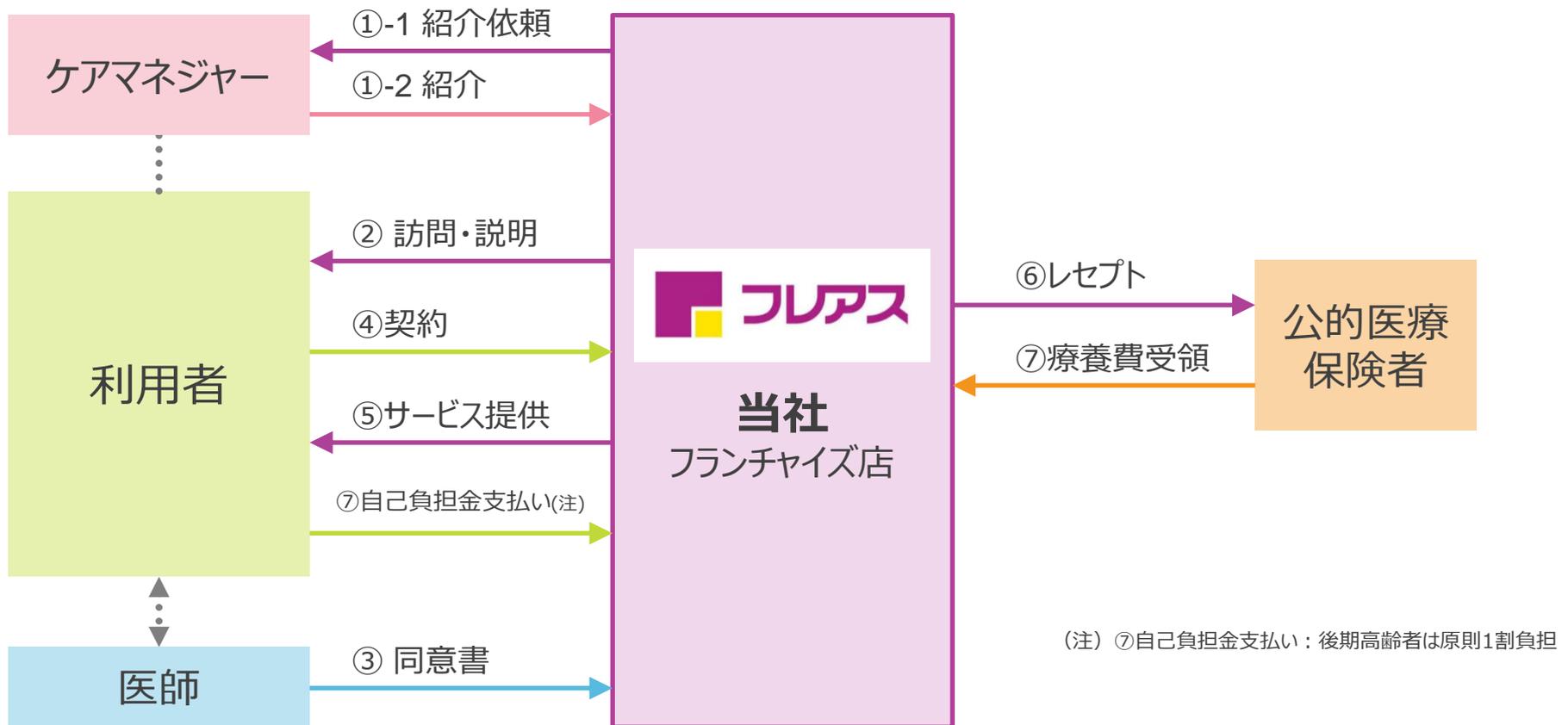
- 在宅療養者を対象に、医師の指示・同意に基づいて、訪問マッサージ(医業類似行為)を提供
  - ・ 事業所数：326拠点 (FC含む、2021/3末現在)
  - ・ 屋号：「フレアス在宅マッサージ」「レイス治療院」

## その他の事業

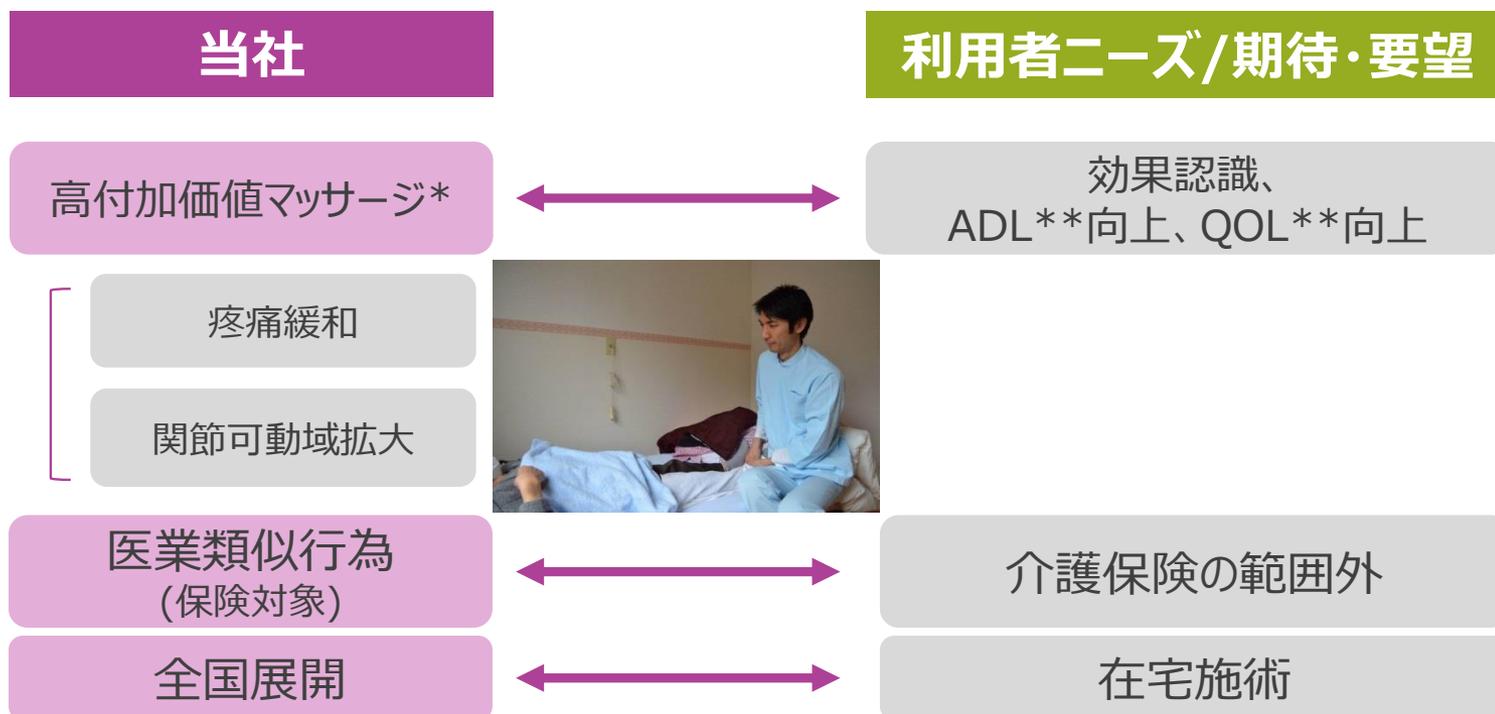
- 患者宅や高齢者施設等への訪問看護事業が主体
- 訪問看護・介護ステーションを運営(6拠点、2021/3末現在)。高齢や疾病・負傷・障害による在宅療養患者に対し、医師の指示・同意に基づいて、看護を提供
- 「理学療法士」による訪問リハビリテーションも展開

# ビジネスフロー（医療保険適用型マッサージ事業）

- ケアマネジャーからの紹介を受け、医師の同意の下、訪問マッサージを施術
- 利用者より「療養費」支給申請の委任を受け、公的医療保険者にレセプトを申請・請求



- マッサージに対する利用者の期待・要望（効果不明、在宅ニーズ）などに対応
- 特に、高い技能（高付加価値マッサージ）を維持・向上する仕組みを構築(体制を確立)
- マッサージ師を正社員として人材確保し、少子高齢化で増加する潜在利用者を着実に獲得
- 2020/3期2Qからフランチャイズ事業を本格展開、成長スピードの加速を目指す



\* 従来のマッサージに比べ、より高い技能を基に利用者の満足度を高める施術と定義

\*\*ADL; Activity of Daily Life、QOL; Quality of Life



# 訪問マッサージ市場動向

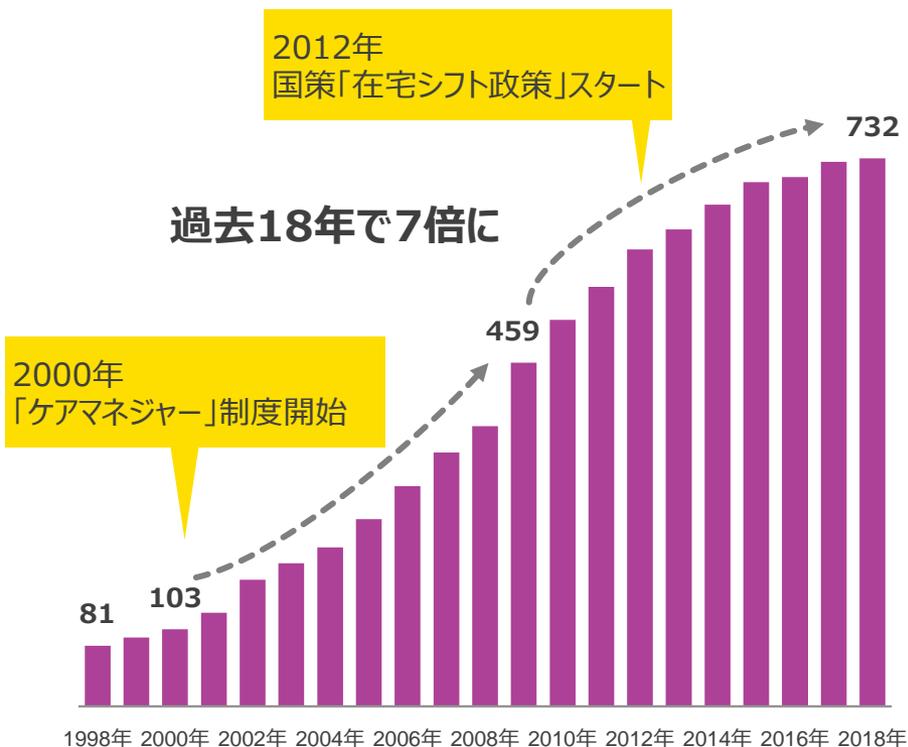


# 療養費（医療保険対象）の推移

- マッサージ療養費は介護保険スタートに伴うケアマネジャーが呼び水となって浸透が加速  
過去18年で約7倍に急成長
- 要支援・要介護認定者は現在658万人超。過去18年で約2.5倍に拡大

マッサージ療養費の推移

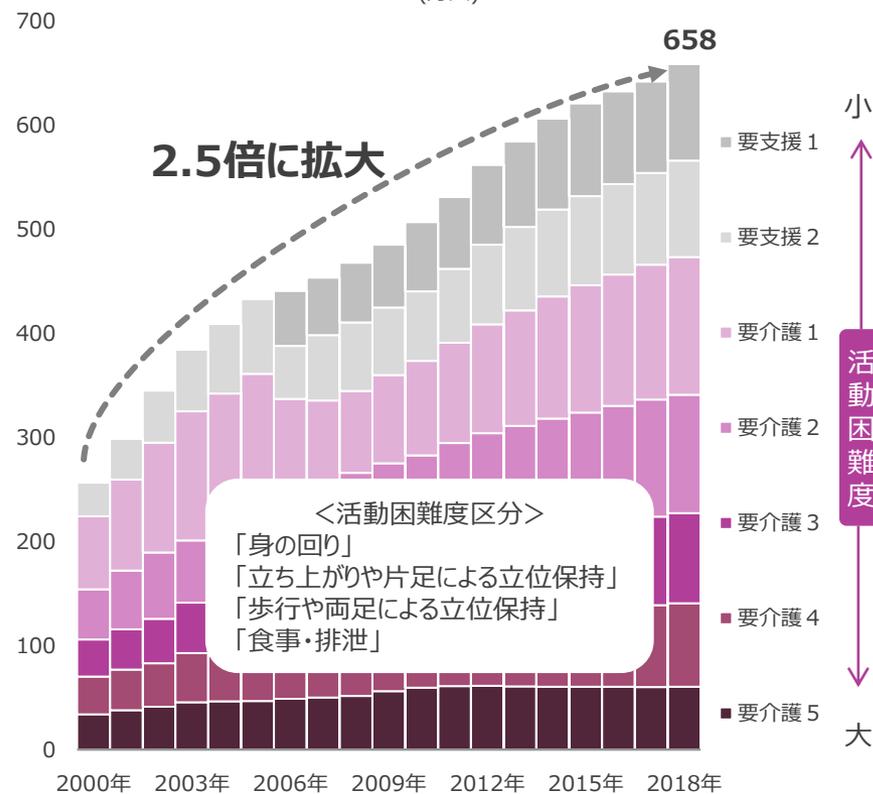
(億円)



出所：厚生労働省保健局医療課及び厚生労働省保健局調査課

要支援・要介護認定者数推移

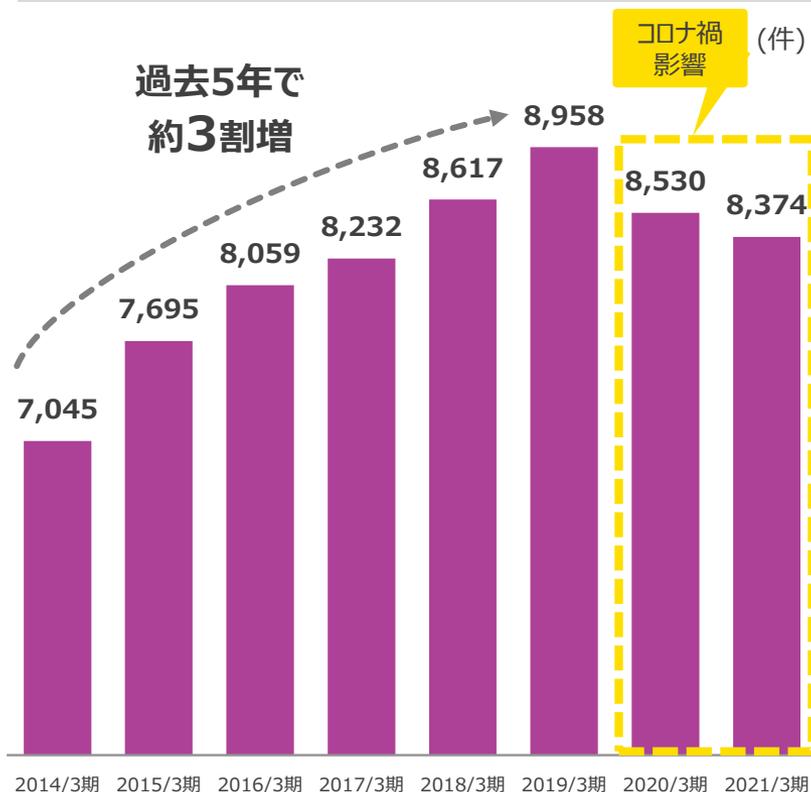
(万人)



出所：厚生労働省介護保険事業状況報告

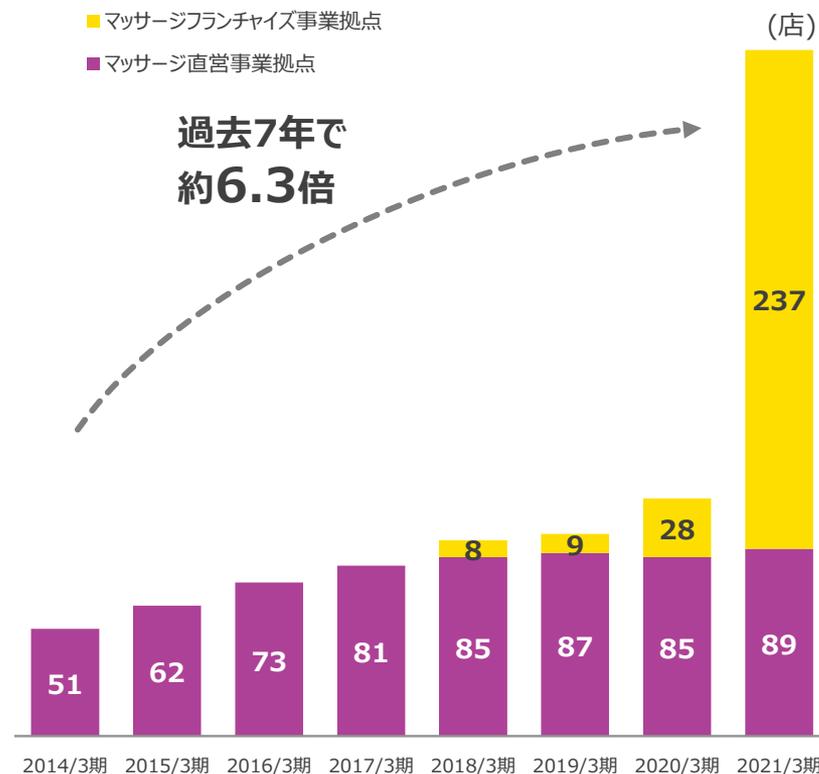
- レセプト数は**過去5年で約3割増加**
- 利用者はほとんど医療保険法対象者で活動困難者（要支援者、要介護者）
- 社員であるマッサージ師が全国の拠点より利用者宅等を訪問し、施術

### レセプト数の推移



※レセプト数は、マッサージと鍼灸の合計数を記載しております。

### 拠点展開の推移



社名	株式会社フレアス Fureasu Co.,Ltd.		
代表者	代表取締役社長CEO 澤登 拓		
創業年月	2000年7月（設立：2002年4月）		
上場	2019年3月		
本店所在地	山梨県中巨摩郡昭和町西条1514番地		
本社所在地	東京都渋谷区初台2丁目5-8西新宿豊国ビル2F		
資本金	290,394（千円）〔2021/3末現在〕		
役員構成	代表取締役社長CEO 取締役副社長COO 取締役（社外） 常勤監査役（社外）	澤登 拓 関根 竜哉 千葉 大介 赤池 雅司	監査役(社外) 日浦 正貴 監査役(社外) 古賀 望 〔2021/3末現在〕
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マッサージ直営事業</li> <li>・マッサージフランチャイズ事業</li> <li>・その他の事業</li> </ul>		
連結売上高	3,672,197（千円）〔2021/3期〕		
グループ従業員数	593名〔2021/3末現在〕		
グループ拠点	332拠点（在宅マッサージ326、訪問看護5、訪問介護1）〔2021/3末現在〕		
連結総資産	3,189,895（千円）〔2021/3末現在〕		

\*従業員数には、臨時従業員の年間平均人員数（150名）を含む

\*拠点数には、FC事業者により運営されている237拠点を含む

年月	内容
2000年7月	山梨県南巨摩郡増穂町にふれあい住宅マッサージを創業し、訪問マッサージ事業開始
2002年4月	訪問マッサージ事業を事業目的とし、山梨県甲府市に「有限会社ふれあい在宅マッサージ」を設立
2005年4月	「有限会社ふれあい在宅マッサージ」を「株式会社ふれあい在宅マッサージ」に組織変更
2011年1月	ダイヤモンド社より特別賞受賞
3月	東京都港区に東京本部を開設
4月	「株式会社フレアス」に商号変更
12月	株式会社セイジョンより訪問看護事業の営業を譲り受け、訪問看護事業を開始
2012年8月	山梨県甲府市にて訪問歯科診療サポート事業を開始
2014年6月	株式会社ピーアンドエヌより訪問看護事業の営業譲受
11月	やまなし産業大賞 受賞
2016年6月	本店所在地を山梨県中巨摩郡昭和町西条に移転
6月	東京本部の名称を東京本社に変更
2017年4月	株式会社星野リゾートと業務委託契約を締結し、ホテルブランド「界」でのマッサージサービス提供を開始
2018年3月	星野リゾート「リゾナーレ八ヶ岳」でのオイルマッサージ(VINO SPA)サービス提供を開始
2019年1月	個人情報保護に関する第三者認証制度JAPHICマーク及びJAPHICメディカルマークを認定取得
2019年3月	東証マザーズ上場
2019年7月	保険適用マッサージサービスに係るフランチャイズの本格展開を開始
2020年6月	株式会社レイスヘルスケアより新設分割された株式会社オルテンシアハーモニーの株式を取得し子会社化
2021年4月	スカイハート株式会社の株式を取得し子会社化

決算年月		2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3
売上高	(千円)	2,335,817	2,594,076	2,744,444	2,900,404	3,284,979	3,711,638	3,962,577	3,672,197
経常利益	(千円)	88,908	61,848	88,468	194,400	193,759	313,003	119,700	102,695
親会社株主に帰属する当期純利益 又は、当期純利益	(千円)	2,169	36,820	52,727	177,869	109,912	176,563	56,879	59,320
資本金	(千円)	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	222,750	289,638	290,394
発行済株式総数	(株)	1,000	1,000	1,000	1,000	100,000	2,250,000	2,328,600	2,332,600
純資産額	(千円)	327,764	364,584	417,312	595,181	705,094	1,307,158	1,497,815	1,559,357
総資産額	(千円)	1,165,691	1,134,022	1,353,270	1,588,572	1,973,936	2,491,623	2,505,483	3,189,895
1株当たり純資産額	(円)	327,764.25	364,584.60	417,312.53	297.59	352.55	580.96	643.23	668.20
1株当たり当期純利益	(円)	2,169.64	36,820.36	52,727.93	88.93	54.96	88.16	24.48	25.44
自己資本比率	(%)	28.12	32.15	30.84	37.47	35.72	52.46	59.8	48.9
自己資本利益率	(%)	0.66	10.64	13.49	35.13	16.91	17.55	4.1	3.9
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)				184,096	▲39,574	292,433	▲99,729	▲99,964
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)				116,238	▲57,067	▲14,278	▲193,330	▲296,836
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)				▲68,193	379,442	168,071	82,128	464,349
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)				629,738	912,537	1,358,764	1,147,832	1,215,381
従業員数 (内、平均臨時雇用者数)	(名)	491 (-)	541 (-)	534 (-)	582 (173)	615 (167)	617 (178)	672 (180)	593 (150)

\* 2021/3期より連結財務諸表を作成しているため、2020/3期以前は参考情報として個別財務諸表に基づく数値を記載

\* 2018年2月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を実施、また、2019年1月8日付で普通株式1株につき20株の株式分割を実施。  
2017/3期の期首に株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり純利益金額を計算

## マッサージとは

- 国家資格保持者（あん摩マッサージ指圧師）のみ施術が許される**医業類似行為**
- 医療上、マッサージを必要とする症例について医療保険が適用

## 施術

治療院等の専門の施術所の他、自宅や施設への訪問による施術  
保険適用の場合は、医師の同意書(指示書)が必要

## マッサージ師

指圧院や病院などの法人に勤務。あるいは、個人事業主として開業



**無資格行為**（整体・カイロプラクティック・足のツボ療法・リフレクソロジー・リラクゼーションなど）  
「マッサージ師」資格は不要である一方、医業類似行為は許されず

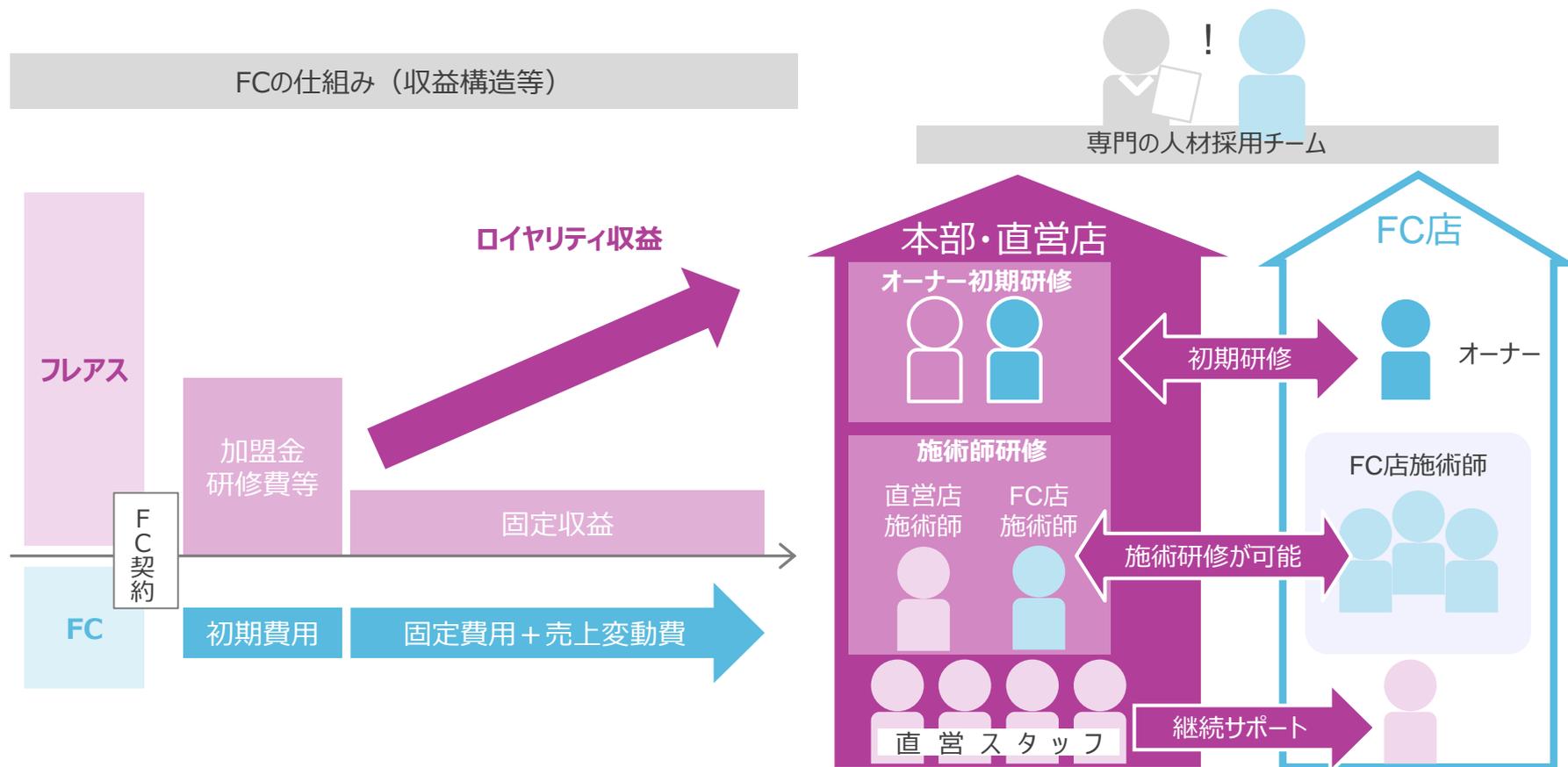
# 医療及び医業類似行為等の一覧

	病院	接骨院	鍼灸院	マッサージ院	理学療法	整体
施術者	医師	柔道整復師	鍼師・灸師	按摩マッサージ師	理学療法士	整体師
資格 (根拠法)	国家資格 (医師法)	国家資格 (柔道整復師法)	国家資格 (あん摩マッサージ指圧師、はり師、 きゆう師等に関する法律)		国家資格 (理学療法士及び 作業療法士法)	民間資格 (一)
行為	医療	医業類似行為 (施術)	医業類似行為 (施術)		医療 (リハビリ)	無資格行為 (矯正)
療養費*	43.3兆円	3,277億円	411億円	<b>732億円</b>	-	-

\*2018年度実績。2021年1月付「医療保険に関する基礎資料 ～平成30年度の医療費等の状況～」厚生労働省保健局調査課

# (参考) フランチャイズ事業の仕組み

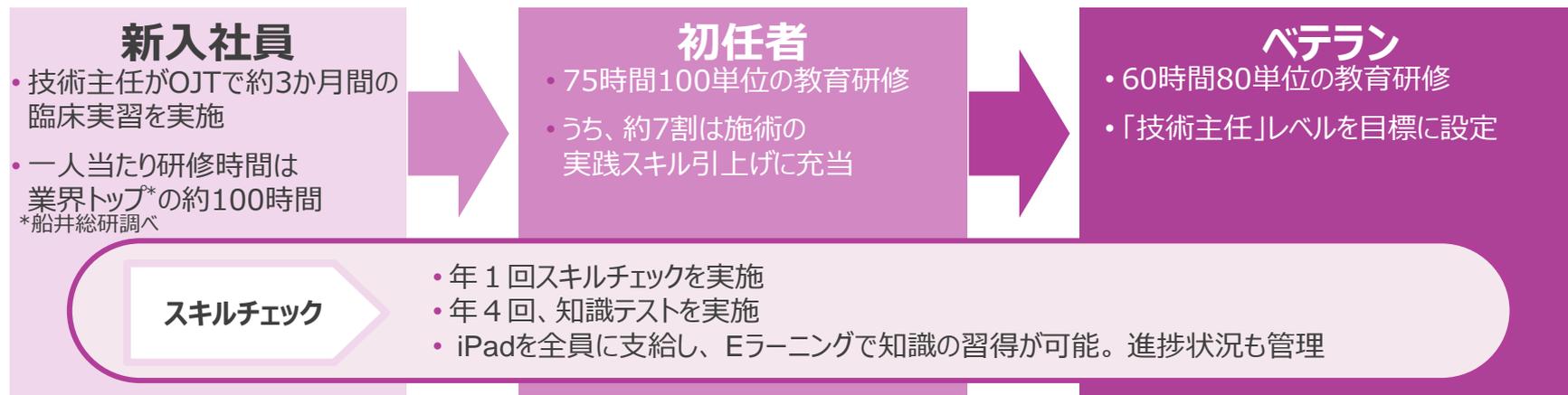
- 当社の人材採用チームがフランチャイズ加盟店のマッサージ師（施術師）の採用を支援
- フランチャイズ加盟オーナー初期研修に加え、フランチャイズ加盟店のマッサージ師も当社研修への参加が可能
- 当社直営店のスタッフが、近隣フランチャイズ加盟店をサポート、効率的な運営が可能



# (参考) フレアスの教育制度 (高い技術品質維持)

- 高い技術品質の維持に向けて、正社員へのトレーニング研修義務付けで対応
- 当社が社員に義務付ける研修時間は業界団体が設ける基準を大きく上回る
- スキルチェック体制が確立しており、技術品質の維持が可能
- 高い技術を持つ直営店施術者がフランチャイズをサポート、フランチャイズ店の技術品質を維持

## 当社研修システム



業界の認定する「訪問マッサージ師」よりもはるかに多い研修時間を設定し、高いスキルの維持向上に注力

### 業界団体\*による研修システム

「認定訪問マッサージ師」：22.5時間 (基礎講義10.5時間、実技講義12時間)の受講により5年間の認定証

(\* )全日本鍼灸マッサージ師会、日本あん摩マッサージ指圧師会、等

### 見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、  
将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

<お問い合わせ先>  
株式会社フレアス  
03-6632-9210  
[ir@fureasu.jp](mailto:ir@fureasu.jp)